

いよいよ動き出した旧高田小の跡地利用 ～旧高田小公園づくり検討ワークショップ参加のよびかけ～

ごあいさつ

みなさまには、日頃よりまちづくりにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本会では、みなさま方にアンケート等でご協力いただいた調査をふまえて、「雑司が谷二丁目地区のまちづくりのあり方」について、平成24年7月豊島区長に提案を行いました。それを受けて、まちづくりの手始めに、豊島区による旧高田小の公園整備がようやく

動き出すことになりました。

来年度の計画案策定に先立って、2月～3月にかけて豊島区による「旧高田小公園づくり検討ワークショップ」が以下のように開催されます。雑司が谷にふさわしい、地域に愛される公園にするため、是非多くの方にご参加いただきますようよびかける次第です。

平成25年2月

池袋南地区まちづくりの会 会員一同

旧高田小公園づくり検討ワークショップ

日程 **第1回 2月17日(日)**

会場：旧高田小学校職員室

第2回 3月3日(日)

会場：旧高田小学校職員室

第3回 3月17日(日)

会場：区民ひろば南池袋

時間：午前9時30分～12時

主催：豊島区公園緑地課

協力：池袋南地区まちづくりの会

- (1) 参加希望者は事前に、豊島区公園緑地課 担当 岩丸・市川（電話 03-3981-4908・Eメール A0023700@city.toshima.lg.jp）、または、まちづくりの会事務局・雑司が谷二丁目町会清田会長までご連絡下さい。当日出席も可能です。
- (2) 提案づくりを行いますので、できるだけ3回いずれもご参加出来る方を歓迎します
- (3) これまでの経緯、ワークショップの進め方等については裏面を参考にしてください。



まちづくりの会 会員募集中

参加をご希望の方は、雑司が谷二丁目町会か、吉川 (jinyoshi@arion.ocn.ne.jp) までご連絡ください。

Q1 これまでのまちづくりの取り組み経過を教えてください。

雑司が谷・南池袋・高田の一带は、後醍醐天皇に仕えた北面の武士が関東に下り拓いたという「雑司ヶ谷村」がルーツです。江戸時代は鬼子母神参拝で賑わう郊外を行楽地と農村集落で、明治から大正にかけて住宅地になりました。緑が多く風情がある街並みと、昔ながらの道路に家屋が密集した住宅地になっています。

昭和 56 年に雑司ヶ谷墓地周辺の不燃化をきっかけに住民参加のまちづくりが始まりました。平成 9 年東京都の防災都市づくりの重点地区になり、平成 10 年防災まちづくりを進めるため「池袋南地区まちづくりの会」ができました。これまでに墓地周辺の「緑のこみち」、「東通りの拡幅」「南池ふくろう広場」などを実現してきました。

平成 15 年に雑司が谷二丁目地区は国の「重点密集市街地」（特に災害危険性が高い地区）に指定されました。そこで会では、平成 22 年に 国土交通省の助成を受けまちづくり調査始めました。

以来、平成 22 年 11 月に第 1 回まちづくりアンケート、平成 24 年 2 月「まちづくり中間まとめ」をお知らせし第 2 回アンケートを実施し、その結果をまとめ、平成 24 年 7 月豊島区長に「まちづくりのあり方」を提出しました。

現在、区と地域で協力してまちづくり計画を検討中です。是非興味がある方は会にご参加いただくようお願いします。



7月31日、高野之夫豊島区長に「雑司が谷2丁目地区まちづくりのあり方」を提出

Q2 なぜ高田小が公園に変わるのですか、なぜ予定より遅れたのでしょうか。

高田小学校は、明治 11 (1878) 年に開校し、平成 13 (2001) 年、学校統合によって南池袋小になるまで、120 年以上親しまれてきました。

平成 16 年 4 月南池袋小が新校舎に移転し、学校の役割は終わりましたが、豊島区は、平成 15 年に様々な事情を考慮して跡地を公園として利用する方針を策定しました。主な理由は以下の通りです。

- ① 長年親しまれた学校で、校地も地元寄付でできたため、だれでも使える公共的利用が必要。
- ② 豊島区は区民一人あたり公園面積が 23 区で最も少なく、公園が不足する地域に整備することが課題。
- ③ この一带は災害に弱い密集住宅地で、防災に役立つ緑の空間確保が重要。

しかし、予算の問題や、周辺道路が狭く校舎解体工事が困難であることなどから、当初の予定より整備が遅れていました。また、公園ができて周辺道路が狭いと災害時の使い勝手が悪いことも懸念されていました。暫定的に利用してきた体育館と校舎も、調査の結果、耐震性が基準を大きく下回っていることが分かりました。

この間、まちづくりの検討が進み、時間をかけて道路を確保していく展望が見えてきました。そこでようやく、豊島区が公園づくりに着手したわけです。

Q3 ワークショップって何をするのですか？ 今後の予定はどうなりますか？

これまでの 2 回のアンケートで、地域の方々から高田小利用に関するご意見が寄せられました。会では、公園の目標を「防災の公園」「緑の公園」「みんなの公園」「地域で育てる公園」に定め、90%の方の賛成をいただき、区に提案しました

それを受けて、来年度から豊島区は校舎解体と公園の設計・整備を並行して行い、平成 29 年度には開園するという目標を定めています。

それに向けて今回のワークショップでは、地域のみなさんに集まっていただき、以下の手順でみんなで図面を囲んで話し合うなどして公園のイメージをまとめ、計画に反映させていく予定です。

- ①第一回 現地を調べて公園の目標づくり
- ②第二回 テーマごとにアイデアを考えよう
- ③第三回 みんなの思いで公園のイメージづくり

各回とも内容が違いますので、多くの方に連続して毎回出席していただきますようお願いいたします。